

## 2022年度 講義要項（授業計画）

				実務経験のある教員等による授業科目	<input type="checkbox"/>		
科目名	英語Ⅱ			担当講師	君塚 葉子		
分野	基礎	授業方法	講義	実務経験			
単位数	1 単位	時 間	30 時間	学 年	2年次	学 期	前期
概 要	<p>近年わが国も国際化が進んだことで、東京や大阪など大都市圏だけでなく地方都市でも多くの外国人が居住するようになり、病院でも英語で対応しなければならない場面が増えてきた。日常会話はもちろん、病気や医療用語を理解できるレベルの英会話が必要とされている。本科目では、高等学校でのオーラルコミュニケーションの学習をもとに、患者との基本的会話・場面別の会話表現を学ぶ。</p>						
到達目標	<p>1. 医療・看護場面における日常英会話を理解する。 2. コミュニケーション手段としての基礎的な英会話能力を身につける。</p>						

回	授 業 計 画 ・ 内 容	学 習 方 法
1	英語で挨拶 看護学生としての自己紹介	講義・演習
2	テキスト Unit6 :Medical Checkup 2	講義・演習
3	テキスト Unit6 :Medical Checkup 2	講義・演習
4	テキスト Unit7 : Mr. Brown's Diagnosis	講義・演習
5	テキスト Unit7 : Mr. Brown's Diagnosis	講義・演習
6	テキスト Unit8 : Mr. Anderson's Symptoms	講義・演習
7	テキスト Unit8 : Mr. Anderson's Symptoms	講義・演習
8	テキスト Unit9 : Let's Ask More about Mr. Anderson's Symptoms	講義・演習
9	テキスト Unit10 : Explaining Blood Test Results	講義・演習
10	テキスト Unit11 : How to Take Medicine	講義・演習
11	テキスト Unit12 : Mrs. Johnson Feels Dizzy	講義・演習
12	テキスト Unit13 : An MRI Test	講義・演習
13	テキスト Unit14 : Recommending an Operation	講義・演習
14	テキスト Unit15 : Post-operative Care	講義・演習
15	まとめ・終講試験/解答・解説	講義

評価方法	客観試験
教科書	First Aid! English for Nursing 金星堂
参考書	必要に応じてプリント配布
備 考	

# 2022年度 講義要項（授業計画）

				実務経験のある教員等による授業科目	<input type="checkbox"/>		
科目名	文化人類学			担当講師	茅根 美保		
分野	基礎	授業方法	講義	実務経験			
単位数	1 単位	時 間	15 時間	学 年	2年次	学 期	前期
概 要	<p>看護師として対象の「その人らしさ」を捉える時、その人らしさの背景にある文化の違いに気づき、「その人らしさ」を支える看護が提供できるよう「文化」の多様性と普遍性を学べる内容とする。さらに、日常や人生において変化が生じる時、人はどのように変化をとらえ、理解し、さらに自らの考え方や行動を変化させるべきかについて考えるきっかけとなるよう講義の中で事例を取り入れ、自らの考えを深めていく。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「文化」とは何か、「異文化」とは何か理解する。</li> <li>2. 個人を取り巻く社会関係を理解する。</li> <li>3. 人は人生をどのように生きているか、またそのことが社会の再生産にどのように関わっているかを理解する。</li> <li>4. 日常生活における宗教の役割を理解する。</li> <li>5. 人間は健康や病気をどのようにとらえ対処してきたかについて理解する。</li> <li>6. さまざまな文化における「死」を理解する。</li> </ol>						
回	授 業 計 画 ・ 内 容						学 習 方 法
1	人間と文化 「文化」の概念 「文化」の多様性と普遍性						講義
2	人と人とのつながり 社会の中の個人						講義
3	人生と時間 人間理解のあり方						講義・演習
4	信仰と世界観 宗教と出産・病気・治療						講義
5	身体・病気・治療(1) 文化と身体観・病気観						講義
6	身体・病気・治療(2) 文化と病気治療・医療人類学						講義
7	人間と死 「死の文化」						講義
8	まとめ・終講試験/解答・解説						講義
評価方法	客観試験						
教科書	新版 文化人類学のレッスン フィールドからの出発 学陽書房						
参考書							
備 考							

## 2022年度 講義要項（授業計画）

				実務経験のある教員等による授業科目	<input type="checkbox"/>		
科目名	社会学			担当講師	小笠原 尚宏		
分野	基礎	授業方法	講義	実務経験			
単位数	1 単位	時 間	30 時間	学 年	2年次	学 期	後期
概 要	<p>社会とは、人と人との様々なつながりや結びつきからなるものである。社会学は社会の中で起こる様々な事象の成り立ちやあり方に関する学問である。看護は、社会のなかで生活する人々を対象として行われる関わりである。従って、社会がどのようにな成り立ちや特性をもっているのか、社会の中で生活する人の健康や健康障害を引き起こす現象とは何かを考える科目としたい。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間行動の特性とはどのようなものか、社会を構成する社会関係、集団・組織・地位・役割に関する社会的行為について理解する。</li> <li>2. 他者・集団との社会的関係が健康状態に必要な影響を及ぼすことを理解する。</li> <li>3. 仕事や職場のどのような特徴が健康に影響を与えるのか理解する。</li> </ol>						

回	授 業 計 画 ・ 内 容	学 習 方 法
1	社会学とは何か 社会学の考え方	講 義
2	A・コントと近代化（社会静学）	講 義
3	社会静学と動学	講 義
4	社会的自我 地位一役割（役割、葛藤）	講 義
5	第一次社会化	講 義
6	第二次社会化（感情労働）	講 義
7	感情管理と感情労働	講 義
8	非組織集団	講 義
9	社会集団	講 義
10	情報化・ネット社会	講 義
11	職場・社会全体	講 義
12	性・ジェンダー	講 義
13	健康行動と病気行動、病体験	講 義
14	現代社会における課題と展望	講 義
15	まとめ・終講試験/解答・解説	講 義

評価方法	客観試験
教科書	大学生のための社会学入門 晃洋書房
参考書	
備 考	

# 2022年度 講義要項（授業計画）

				実務経験のある教員等による授業科目	<input type="checkbox"/>		
科目名	教育学			担当講師	渡邊 洋子		
分野	基礎	授業方法	講義	実務経験			
単位数	1 単位	時 間	30 時間	学 年	2年次	学 期	前期
概 要	人間の生成過程の影響因子には、自然環境や文化環境、人間環境がある。その環境に適応していく営みが学習である。学習の質が人間の判断や行動に与える影響は大きい。看護学では、人間の受胎から死までの全生涯にわたる各期を発達する存在ととらえ、生涯にわたる健康教育や保健指導が行われている。本科目では、教育が目指す人間育成のための基礎知識を看護援助における教育に活かす足がかりにした。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の成長に教育がどのように作用して人間形成されるのか、教育の意義を理解する。</li> <li>2. 学習と生活の結びつきについて理解し、看護援助における教育の特質を理解する。</li> <li>3. 社会の発展が教育の状況をどのように変化させ、人間の発達に影響を与えているか考える。</li> <li>4. 生涯各期の自主的な学習の特質を理解する。</li> <li>5. 教育の目的・目標・評価を理解する。</li> </ol>						

回	授 業 計 画 ・ 内 容	学 習 方 法
1	教育の意義 教育とは何か	講義
2	教育の機能	講義
3	家庭教育 家庭と教育	講義
4	生涯学習支援の社会教育 生涯教育・生涯学習社会・社会教育	講義
5	生涯学習支援の社会教育 生涯教育・生涯学習社会・社会教育	講義
6	発達と教育 子どもの成長発達と教育	講義
7	教育の目的 教育目的の考え方	講義
8	教育の方法・技法 対象理解・教育相談	講義・演習
9	教育評価 教育評価の意義と目的・方法・到達度評価・自己評価	講義・演習
10	現代教育の諸問題	講義
11	特別支援教育 障害児への教育・支援	講義
12	看護と教育Ⅰ 看護基礎教育・卒後教育	講義
13	看護と教育Ⅱ 患者教育	講義・演習
14	看護と教育Ⅲ 健康教育	講義
15	まとめ・終講試験/解答・解説	講義

評価方法	客観試験
教科書	看護学生のための教育学-自己の再発見のためにー 金芳堂
参考書	
備 考	

## 2022年度 講義要項（授業計画）

				実務経験のある教員等による授業科目		<input type="checkbox"/>	
科目名	家族論			担当講師	富田 悠香		
分野	基礎	授業方法	講義	実務経験			
単位数	1 単位	時 間	15 時間	学 年	2年次	学 期	前期
概 要	<p>人間生活の基盤として家族があり、家族の人々がいる。家族は、現代社会の影響を受けて多様に変貌し、さまざまな家族問題が生じている。本科目では、家族の歴史的形成について理解し、現代家族の変化や問題をとらえるための基礎的な視座を習得する。近年、看護の場では在宅ケアにおける家族支援のマネジメント能力が必要とされている。家族をひとつの生命体「システム」と捉え、家族問題に対する家族支援のアプローチの方法について習得することを目指している。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家族の構造と機能を含めて家族とは何か、自己の家族観をイメージできる。</li> <li>2. 夫婦関係や親子関係におけるそれぞれ個人の役割やつながりについて考察できる。</li> <li>3. 社会的な諸要因が家族へどのような影響を与えているか、地域や職場との関係について考察する。</li> <li>4. 在宅ケアを担う家族に発生する問題への支援のあり方を考察する。</li> <li>5. 家族システム理論を通じたアプローチの方法がわかる。</li> <li>6. 家族の発達段階に応じた心理的援助の方法が理解できる。</li> </ol>						
回	授 業 計 画 ・ 内 容						学 習 方 法
1	家族とは 基本概念・類型・家族の変貌						講義
2	夫と妻のパートナーシップ（夫婦関係）						講義
3	親と子と孫の絆（親子関係論）						講義
4	家族と社会（生活文化・地域・職場）						講義
5	患者家族と在宅ケア						講義
6	家族支援のアプローチ 家族システム論・家族発達段階論						講義
7	家族支援のアプローチ 家族への心理教育的方法・心理援助の方法						講義
8	まとめ・終講試験/解答・解説						講義
評価方法	客観試験						
教科書	系統看護学講座 別巻「家族看護学」 医学書院						
参考書							
備 考							

## 2022年度 講義要項（授業計画）

				実務経験のある教員等による授業科目	<input type="checkbox"/>		
科目名	健康とスポーツ			担当講師	時野谷 勝幸・酒井 聖子		
分野	基礎	授業方法	実技	実務経験			
単位数	1 単位	時 間	30 時間	学 年	2年次	学 期	前期
概 要	看護師は、健康生活を援助する者として、対象の健康を考えるために、自分自身が健康的な心と身体を有していることが基本となる。そこで、運動と健康の関連を理解し身体を動かすことで、心身の育成を促す。また、援助する者として、高齢者や障害をもつ人の健康と生き生きとした生活を支援するための運動や福祉レクリエーションについて、実践を通して学ぶ。						
到達目標	1. 運動と健康の関連を理解し、身体を動かすことで心身の育成を促す。 2. スポーツを通し、チームワークを育む。 3. 健康とストレスの関連を理解し、リラクゼーションを実践することでストレスをコントロールする方法を理解する。						

回	授 業 計 画 ・ 内 容	学 習 方 法
1	健康理論 運動理論	講義
2	体力測定・分析	演習
3	有酸素運動の基礎（1）	実技
4	有酸素運動の実践（2）	実技
5	有酸素運動の実践（3）	実技
6	有酸素運動の実践（4）	実技
7	高齢者と運動	実技
8	福祉レクリエーション基礎(1)	講義
9	福祉レクリエーション基礎(2)	実技
10	福祉レクリエーションの実践（1）	実技
11	福祉レクリエーションの実践（2）	実技
12	福祉レクリエーションの実践（3）	実技
13	福祉レクリエーションの実践（4）	実技
14	福祉レクリエーションの実践（5）	実技
15	まとめ・終講試験/解答・解説	講義

評価方法	積極性、実技試験、客観試験等を加味し、総合的に評価する。
教科書	講義の中で提示する
参考書	
備 考	